



カンボジア

中学校体育科教育指導書作成と普及

2017年1月～2020年9月



カンボジアではポルポト政権下で教育関係者が虐殺され、教育文書も残っておらず、その影響を受けて現在でも中学校体育科教育の整備が遅れています。そのような状況の中、2006年～2016年には小学校体育科教育に対する協力を行い、大きなインパクトを残しました。さらに2017年からは中学校の体育教員を養成している国立体育・スポーツ研究所（NIPES）及び学校体育・スポーツ局（DPESS）の体制構築・人材育成、指導書の作成、指導要領・指導書を用いた体育授業の普及のための協力を行っています。

本案件は、カンボジアの中学校体育科教育において学習指導要領及び指導書に基づき新しい体育科教育を普及する基礎が確立されるとともに、モデル州・モデル校の関係者が新しい体育科教育を適切に実施できる能力を習得することを目的に実施しています。スポーツを通して「豊かな心と健やかな体」づくりに貢献しています。

～活動や目指す成果～

DPESS及びNIPESの体制構築、人材育成

DPESS及びNIPESへの本邦研修、組織図の作成等を通じて、DPESS及びNIPESが中学校体育科教育の中央機関としての体制を確立し、人材を育成しています。

体育授業プログラムの確立

指導書作成、指導書活用のワークショップの開催、教育省への提言により、全国共通の体育授業プログラムが確立されます。

対象国校における学習指導要領・指導書に基づいた体育授業の実施

対象校でのワークショップやモニタリングを通してモデル校での体育授業の実施しています。